

たぶせの 子育て応援団

vol.2

全国的に少子高齢化が進んでおり、田布施町でも同様に進んでいます。
 その中、今回の特集では、田布施町で子育てしやすい環境づくりに取り組んでいる活動や事業について紹介していきます。



子育て世代包括支援センター 『^{にこにこ}2525 たぶせ』

「子育てのことでちょっと聞いてみたい！」
 そんなときは子育て世代包括支援センター『^{にこにこ}2525 たぶせ』へお越しください。

妊娠から出産、子育てまで切れ目のない支援を行う身近な拠点として10月1日より保健センター内に開設しています。



『2525 たぶせ』ってどんなことをするところ？

『2525 たぶせ』は、妊娠・出産・子育てに関するさまざまな悩み事を相談できる総合相談窓口です。保健師が一緒に対応を考え、必要に応じて他の関係機関と連携して子育てを応援します。

例えば、『出産が心配』『母乳が足りているか分からない』『赤ちゃんが泣きやまない』『気分が落ち込む、涙がでる』『子育てに関する情報が知りたい』『産後の子育てが心配』・・・など

そんなときは1人で悩まずお気軽にご相談ください。(秘密厳守・相談無料)



◇場所

田布施町大字下田布施 2210-1
 田布施町保健センター内

◇開所時間

月～金（祝日・年末年始除く）
 午前8時30分～午後5時15分

◇連絡先

☎ 0820-53-2525 いつもみんなにこにこ

妊娠、出産、子育てについての相談を月1回、西田布施公民館で受け付けています。

スタッフは栄養士、保育士、保健師に加え、4月からは、助産師が加わりました。このため妊娠・出産についての相談も充実しました。

『妊婦・育児相談』では、身体測定を行ったり、離乳食の進め方、妊娠の悩みや産後の過ごし方、子どもの発達などさまざまな内容に対応しています。ゆったりとした雰囲気の中で、子どもを遊ばせながら相談することができます。

予約は不要です。気になる事があればぜひご利用ください。

※詳細な日程については、広報のカレンダーもしくは町ホームページをご確認ください。



田布施町の子育てについて聞いてみました！

日ごろ、『妊婦・育児相談』や『幼児健診』など多くの子育てに関する活動に関わっているスタッフに①『田布施町で子育てをするメリットと思うところ』、②『多くの活動をする中で、やりがいを感じる場所』、③『今後、相談に来られた人に対してどういった支援をしていきたいか』の3点についてインタビューしました。

③ 横の繋がりが少なくなっているため、親子が集う場で仲良くなつて直接連絡し合えるような場を作っていきたいと思います。また、情報がたくさんある中でインターネットの情報に頼りがちになっていて、中には間違った情報もあるので、お母さんたちと直接関わっている場づくりができればと思っています。

① 自然豊かな中で子育てできることが良いです。また子育てを支援する団体がさまざまな健診や子育てを通したイベントに関わっているところが良いです。

② 健康診査やイベントに参加している子どもたちが回を重ねるごとに、成長していく姿を見るときです。



▲インタビューにご協力いただいた寺脇さん



▲インタビューにご協力いただいた三宅さん

① 都会に比べて、おじいちゃんやおばあちゃん世代が近所にいる場合が多く、家族全員で子育てができる環境があるところだと思います。

② いろいろなお母さんやかわいい子どもに会え、さまざまな活動を通して多くのお母さんと話し情報交換できているところを見るときです。

③ 参加される子どもの年齢層が昔に比べて下がってきているので、スタッフの関わり方が変わってきました。こうした年齢層の変化に応じた支援がもっとできれば良いと思います。

育児サークル

～みんなで子育て、地域の輪～

子ども同士、親同士の遊びの場、ふれあいの場として城南公民館、西田布施公民館、東田布施公民館、麻郷公民館の4カ所で年3回、育児サークルを行っています。実際に育児サークルの利用者にインタビューしました。



◇開催時間 午前10時～正午
※申し込みが必要となります。
開催日については、町ホームページをご覧ください。

Q3. あって良かったこと、今後こんなことがあるといいなと思うことは？
A. 今後は、町内で思いっきり遊べる場所がなかなか少ないので、『育児サークル』を通して遊びの場を増やしていただけたら嬉しいですね。

Q2. 育児サークルに参加して良かったところは？
A. このような同じ世代の子どもや親が集まれるサークルに参加することで、人見知りが少なくなり、いろいろな人がいても動じず、積極的に遊んでいるところが良かったです。また、子育てに関する情報交換ができることも良いと思います。

Q1. 育児サークルに参加しようと思ったきっかけは？
A. 子どもが家にいるより同じ世代の子どもと関われると思ったからです。



▶インタビューにご協力いただいた山口さん

たぶせちびっこまつり

- ◇日時 11月29日(金) 午前9時30分～正午
(受付: 午前9時30分～午前11時)
- ◇場所 西田布施公民館
- ◇問合せ先 田布施町母子保健推進協議会(保健センター内)
☎52-4999

病後児保育室『のびのび』

閩町民福祉課 児童係 ☎52-5810

田布施町は柳井市、平生町と共同で往診型の病後児保育『のびのび』を運営しています。事前登録制で、安静などを十分に配慮した保育看護を行うことで、病状は再び悪化することがないと判断した子どもを預かることができます。

◇対象年齢 1歳～小学6年生

◇保育時間

- ・月曜日～金曜日 午前8時30分～午後6時
- ・土曜日 午前8時30分～午後12時30分

※医師在時の開園になりますので、事前にご相談ください。

◇休園日 日曜日・祝日、年末年始、お盆、ふじわら医院休診日

◇住所 平生町大字平生村大正町824-3
(旧平生保育園跡地)



◇利用料

- ・1日 2,000円(所得により減免規定あり)
- ・昼食代 400円(弁当持参可)
- ・おやつ代 100円(持参不可)

◇登録方法

『のびのび』に規定の書類を提出する
※田布施町、平生町、柳井市在住の人は、各役場・役所でも登録できます。詳細はお問い合わせください。

地域協育ネット推進事業 - 放課後子ども教室 -

☎社会教育課 ☎ 52-5813

地域協育ネット推進事業の一つとして、『ふるさとを愛するたぶせっ子の育成』をモットーに東田布施小学校では『東田布施小PTCAプロジェクト』、田布施西小学校では『西の寺子屋』、城南小学校では『城南こころ教室』、麻郷小学校では『成器塾』が開催されています。

講師は日ごろから子どもたちを見守っている地域住民の方々と、地域の皆さんが持っている特技を生かした体験活動を行っています。

今回は、麻郷小学校の放課後子ども教室の指導員として関わっている方と『成器塾』に参加している子どもの保護者にインタビューしました。



～経験を活かし子どもたちに伝えていく～

Q3. 工夫していることや気を付けていることを教えてください。

A. 子どもたちに分かりやすく伝え、楽しくやってくれるようにすることです。そのため、集中しながらも楽しくやってくれるような方法を絶えず考えながら取り組んでいます。

Q2. 充実感を感じる時、楽しいと思える瞬間はどんな時ですか？

A. こちらが伝えていることを理解してくれて、実際に言葉にして行動してお芝居という表現活動に取り組んでくれるときです。また、こちらの演出意図に近づいて、子どもたちが自ら表現していることを子どもたちが実感している様子が伝わってきたときです。

Q1. 指導員をやるうと思ったきっかけは？

A. 昨年、麻郷小学校の放課後教室の話があり、お芝居を通して子どもたちが伝える力・聴く力を養い、麻郷の子どもたちがより成長してもらえたらと思います、指導員をやるうと思いました。

▼インタビューにご協力いただいた中村さん



～保護者から見た地域と学校の繋がり～

Q1. 放課後教室の印象と参加させようと思った理由は？

A. 地域の人と子どもたちがふれあえる良い場で、普段、学校や塾などでは学べないことが学べ、さまざまなことが体験できるからです。

Q2. 実際に参加させて良かったと思うところはありますか？

A. 楽しそうにしています。体を動かすことが好きで、なかなか家の周りで体を動かす場がなかったので良い機会をいただけたと思います。

Q3. 地域の方々と子どもが関わっていることについてどう感じますか？

A. これまで、東小や西小、城南小の放課後教室のことは聞いていましたが、麻郷小学校でも今年度から始まり、より地域の人と学校と一緒に活動できているなど感じます。



▲インタビューにご協力いただいた上杉さん